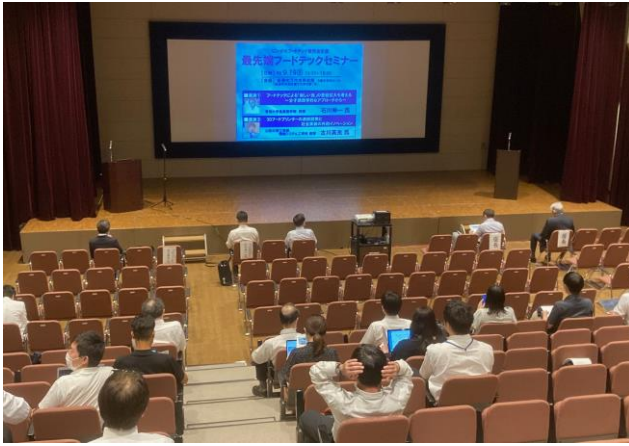


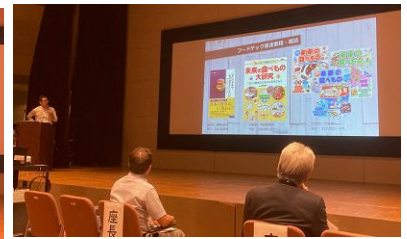
# にいがたフードテック研究会 活動報告 No. 6



左：開会前のようす  
右：門協会長による  
開会のあいさつ

令和6年9月19日に万代市民会館にて、最先端フードテックセミナーを開催しました。セミナーでは、国内のフードテック

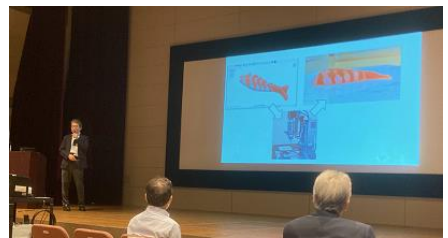
クを牽引する山形大学工学部 古川教授と宮城大学 石川教授から、最新動向について講演いただきました。



宮城大学 教授 石川様の講演のようす

石川教授からは、「フードテックによる『新しい食』の受容拡大を考える」と題した講演を拝聴しました。はじめに、フードテックの展望として、サイバーフィジカルシステムの普及やハイパーパーソナライゼーションの実現について解説いただきました。

次に、具体例として食品開発AIやオーダーメイドグミの事例をご紹介いただきました。そして、新しい食品の消費者に受容してもらうためのポイントを提案されました。例え話にマンガからの引用を駆使されるなど、聴衆にとって理解しやすい講演でした。



### 山形大学工学部 教授 古川 様の講演のようす

古川教授は、「**3Dフードプリンタの連続開発と社会実装の共創イノベーション**」と題して3Dフードプリンタに関する講演をされました。県内企業が協力したインクで作ったお寿司をトヨタ自動車(株)の豊田章男会長が召し上がった場面など、動画で技術の成果をご紹介いただきました。

また、粉末化した食品残渣の活用によるフードロス解消やLNGの冷熱利用といった3Dフードプリンタを中心とした社会課題の解決への取組には、会場から質問が出るなど関心が集まりました。このほか、「イベント・ドリブン・イノベーション」といった裏話も交え、ユーモアに溢れる講演でした。

セミナー後、会場を移して情報交換会を開催いたしましたところ、素晴らしい講演の勢いを受けて、大盛況となりました。今後も、本研究会ではセミナー等のイベントを通じて、新潟発の食のイノベーション創出を促進してまいります。

また、フードテックに関心のある企業・大学等がいらっしゃいましたら、「にいがたフードテック研究会」への入会をご検討ください。

### 分科会への入会もご検討ください!



新潟県農業総合研究所食品研究センター

Tel 0256-52-0448 / E-mail [ngt063014@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt063014@pref.niigata.lg.jp)